

## 遺構の広場

- ・ 震災前の閑上の町を表した化粧タイル、震災前の写真パネルが随所にあります。タイルの裏側に寄付者の名前が刻まれています。一覧の石碑は南側にあります。
- ・ 東日本大震災の教訓碑『からぶってもいんでねえの助かれば』（東側）旧日和山町内会住民が建立し未来へ伝えていきたい。避難する事！
- ・ 津波で残った街路灯4基と閑上大橋交差点歩道橋の一部（閑上小学校前）を保存しました。広場の四隅に建っています。



## 4基の石碑

- ・ 「忠魂」日清・日露戦争の慰霊碑
  - ・ 「英霊碑」大正・昭和初期に漁船の海難事故犠牲者の機関士の慰霊碑
  - ・ 「大東亜戦戦死者氏名」太平洋戦争で亡くなった地元の人たちの慰霊碑
  - ・ 「昭和三陸地震津波碑」1933年3月3日（昭和8年）表題に「地震があつたら津浪の用心」忘れられた碑。「津波は閑上には来ない」と言い伝えが存在していた。
- 先人の教えを伝えていくことが大切です

## 名取市震災慰霊碑

- ・ 高さ：8.4m
- ・ 大地から植物の芽生えを表しています。平成26年8月11日に仮建立。
- ・ 令和元年にメモリアル公園に整備されました。
- ・ 平成28年8月には、横綱白鵬・日馬富士土俵入りが行われました。
- ・ 芳名板には、津波・震災関連死の960名方のお名前が刻まれています。
- ・ 閑上2丁目は住民が240名以上犠牲になり、「津波は貞山堀を越えて来ない」という言い伝えが多く犠牲者を出したと考えられます。
- ・ 平成29年11月に当時皇太子同妃両殿下啓記念碑両殿下が閑上の思いを詠んだ碑があります。

## 日和山（高さ6.3m、津波高8.4m）

- ・ 大正時代に旧日本陸軍と地元住民によって造られた。（大正9~10）
- ・ 山頂には富主姫神社が祀られている。閑上で最初に復興した建物。
- ・ 津波高を計測した松の木、幹に瓦礫でキズ付いた痕に付着物があると記録。

## 名取市震災復興伝承館（公園から少し離れます）

- ・ 令和2年に開館、震災前の閑上住宅街のジオラマを見てください。
- ・ 水圧ドア、水圧下駄の体験と写真パネルでこれまでの歩みを見てください。



これらの案内場所で上記の説明と語り部の体験談をお話いたします。所要時間は約90分が目安です。

一般社団法人ふらむ名取・閑上震災を伝える会

〒981-1232 名取市大手町5丁目6-1 名取市市民活動支援センター内  
TEL : 090-3583-1359 FAX : 022-382-6210 mail : natorijapan@gmail.com

ゆりあげ  
**名取市閑上地区の教訓**  
ふらむ名取・閑上震災を伝える会の考え！

**○閑上地区の被害** 閑上の当時人口7100人（住宅街5600人）

2011年3月11日、東日本大震災の巨大津波によりに、沿岸部は大きな被害を受けました。名取市では923名、閑上地区では**753名**（不明37名）が津波で亡くなりました。

私達は悲しく、辛く、悔しい、思いは忘れず、二度と同じ思いはしたくありません。

**○なぜ！犠牲者が多くでたか？ 次の4つの事が考えられます。**

- ① **先人の教訓が伝わらなかった**      ② **津波は閑上には来ない！  
…神話を作ってしまった。**

1933年3月3日（昭和8年）昭和三陸地震津波襲来の石碑が、同年11月3日に日和山付近に建立されました。表題には「地震があったら津浪の用心」と刻まれています。教訓碑の存在が伝えられず、多くの住民が犠牲者になったと考えています。

1960年5月24日チリ地震津波の際に閑上地区は浸水せず「津波は閑上には来ない」神話が作られ、また、閑上二丁目には「津波は貞山堀を越えて来ない」と伝えられ、約240名以上が犠牲になり閑上地区の亡くなった方の三分の一を数えます。

- ③ **避難所に行ったら安全宣言が出るまでは勝手に移動しない**      ④ **防災無線が機械の不具合で放送されなかった**

多くの住民は避難所に避難したが、停電、寒さなどで着替えを取りに自宅へ戻り、また自宅に帰った住民もいて、津波到達まで1時間6分あり、『まだ、来ないよね！まだ、大丈夫』勝手に判断し犠牲になりました。

非常時に住民に放送される防災無線がヒューズの不具合で放送されず、震度6強の揺れが約4分続き何事も無いわけがない。先人の教え「地震があった津浪の用心」教訓を活かせ。

自然災害に対して認識を新たにし防災減災に取り組んでいます。災害に強い街を目指し32haを海拔5m高上げ6階建て公営住宅8棟と住宅街、県道10号線以西を整地24haに教育施設・住宅街、現地再建し多重防御と垂直避難できる建物を作り東日本大震災より復興をしました。

『自分の命は自分で守る・早めの避難』

**○閑上地区・小中学校・保育所・幼稚園の被災概況**

**閑上  
小学校**

閑上小学校、当時の児童298名。児童らは下校途中で教職員が小学校に連れ戻したが、約5名が自宅や中学校、児童館へ避難し無事。休んでいた児童1名が自宅で犠牲、当日登校した児童は全員無事でした。

**閑上  
中学校**

閑上中学校は午前中に卒業式が行われ、午後には教職員と保護者の謝恩会が行われていた。全生徒156名中14名が犠牲。1年生4名・2年生7名・3年生3名。教師生徒は大変辛く、悲しい別れを経験しました。

**閑上  
保育所**

閑上保育所は園児54名を職員10名が、自家用車5台で小学校へ避難して全員無事でした。これは、所長（責任者）が災害意識を強く持ち避難を行い、津波から園児を守り閑上の奇跡と称されています。

**私立  
わかば  
幼稚園**

私立わかば幼稚園は、卒園式後謝恩会が行われていました。園児4名と教諭1名が犠牲。閑上わかば幼稚園、閑上中学校とも、その日が災いし悔やまれます。

- 当時、小学校へ避難した住民約600名・中学校約700名・公民館約70名、翌日より救助活動で市内の数十か所の避難所へ移動しました。
- 2018年4月に閑上小中学校（小中学校一貫校）として開校、閑上保育所も2019年4月に開所。閑上わかばこども園（幼稚園）は2022年春に開園しました。